

新署長さん こんにちは

多治見税務署長

なかがわもとこ

中川元子氏 (59 歳)

インタビュー

インタビュー

広報委員長：井澤 秀明
広報担当副会長：大嶽 利彰
会 長：大脇 慶二
副 会 長：小倉 道生
副 会 長：高垣 守宏

本日は、この7月の定期異動で多治見税務署に着任されました中川署長に広報委員会及び正副会長がインタビューさせていただきます。

—前任地はどこですか？

名古屋国税局徴収部の納税管理官で相続税・贈与税の延納・物納や相続税・贈与税・所得税等の納税猶予の許可や相談等の事務に従事していました。

担保に入れる不動産の現地調査や株式の評価など初めて携わる仕事で、毎日耳慣れない言葉に悪戦苦闘していました。

—ご出身地を教えてください

父親の仕事の関係で、幼少のころは名古屋市緑区、中学2年の途中まで福岡市、その後瀬戸市から名古屋市千種区と居を転々としましたので、故郷(ふるさと：生まれ育った場所)があるということにはとても憧れがあります。

しかし、現在の住まいは長久手市なので結果的に愛知県に大変ご縁があります。

福岡にいた頃は博多弁など博多地方の言葉に接していたせいか、瀬戸市に引っ越して来た頃は「けたた(自転車)」や「ほかる(捨てる)」などの言葉にずいぶん驚いたのが遠い昔の思い出です。

—東濃地方の印象はどうでしょうか？(3回目の赴任ですが！)

多治見税務署の勤務は3度目で、1度目の勤務は、今から12年前の平成25年ですが、その頃はまだ駅北地区は今ほど開発されていませんでした。

2度目の勤務は今から7年前の平成30年ですが、駅北地区に多治見市役所の北庁舎が建ち、駅周りも公園



等が整備され、お酒のイベント等が催されていました。当時の署長や一統括と一緒に酒蔵めぐりや法人会の地域イベントに参加したことが懐かしく思い出されます。

3度目の今回、更に駅北地区や駅周りが開発されてマンション等もできており、とても驚いております。

今後も更なる開発の予定があると聞いていますので大変楽しみです。

また、管内を車で走りますと、以前と変わらない風景がある反面、大きな商業施設が建っているなど、時代の流れを感じているところです。

—さて、人生観・座右の銘をお伺いします

我が職場の面接試験の時に座右の銘を聞かれ、とっさに「一期一会」と答えました。それゆえ大事にしている言葉の一つで、人のご縁というのは本当にいつも大切にしたいと思っています。

また、今は「誠心誠意」という言葉も常に心に留めていて、目の前にあることを今できる範囲で精一杯力を尽くすよう心掛けています。

沖縄の方言に「なんくるないさー」という言葉がありますが、「何とかなるさ」という楽観的な意味だけではなく、「正しいことをしていれば、自然と良い結果になる」という、より深い意味もあるそうです。私も日々「人事を尽くして天命を待つ」心持ちを忘れてはいけな

いと思っています。

—趣味を教えてください

映画館で、映画を観ることが最大のストレス解消法です。テレビやビデオにはない映画館という空間の没入感に魅力を感じ、時間が許せば、1日何本か観ることもあります。

怖い内容のものは苦手であえて観ませんが、それ以外なら邦画・洋画・アニメ・古いもの・新しいものなどジャンルを問わず観ています。

最近観た映画は「国宝」です。3時間の大作ですが、作品にのめり込んでしまい、あっという間に時間がたっていました。

ほかには、子供の頃から歌を歌うことが好きで、機会があればカラオケに行くこともあります。

—税務行政の方針は？

国税庁の使命として「納税者の自発的な納税義務の履行を適正かつ円滑に実現する」ため、今後も納税者の利便性の向上に努め、適正かつ公平な課税と徴収の実現に力を尽くしたいと思っています。

現在、デジタル化・オンライン化を推進している中で、特に確定申告のe-taxによる更なるデジタル化やキャッシュレス納付の推進など、引き続き、更なる「納税者の利便性の向上」に努めてまいります。

また、この地域では、これまでたくさんの児童・生徒の皆さんに租税教室を受けていただいておりますが、将来を担う若者に税の仕組みや重要性をご理解いただき、「税の理解者」になっていただく絶好の機会と考えていますので、法人会をはじめとする関係民間団体の皆様のご協力を仰ぎながら、引き続き小・中・高校における租税教室を開催させていただければと思っています。





—法人会に期待されることは？

過去2回の多治見税務署勤務の際も感じておりましたが、法人会の皆様には支部・部会活動においても、子供たちに対する催しや地元に着するものなど様々な場面で税のオピニオンリーダーとして熱心に活動する姿を拝見するにつけ、本当にいつも頭が下がる思いです。

改めまして、税知識の普及などに向け、多大なご尽力をいただき、心から感謝申し上げます。

最後になりますが、一般社団法人多治見法人会のますますの発展と会員の皆様のご健勝並びに事業のご繁栄を祈念するとともに、今後も税務行政への変わらぬご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

3回目の赴任ということで役員とも顔なじみで、「お帰りなさい」の言葉が飛び交うインタビューとなりました。はちきれんばかりの笑顔が魅力の中川署長、本日はお忙しいところ誠に有難うございました。

